

令和5年度 世羅中央病院企業団病院事業会計決算報告

世羅中央病院企業団企業長 横田 和典

世羅中央病院企業団議会第2回定例会が令和6年10月4日に開催され、令和5年度世羅中央病院企業団病院事業会計決算が認定されました。

令和5年度の決算状況につきましては、病院事業収益は、前年度よりも1億6,272万6,036円減少し31億8,406万1,362円となりました。医業収益のうち入院収益は、病床稼働率が88.8%から85.5%に低下しましたが、徹底したベッドコントロールを行い平均在院日数の年度平均が16.6日から14.7日に短縮したことにより、前年度より6,068万1,395円の増収となりました。外来収益は、前年度より1,669万8,326円増収となりました。医科・歯科ともに診療単価が上昇し、患者数も医科が1,634人、歯科が254人増加したことが大きな要因です。医業外収益については、新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日に「5類感染症」に移行され、新型コロナウイルス感染症患者の受入れに伴う休床補償が大幅に減少（前年度比約▲2億4,000万円）したことが影響し、前年度より2億4,317万4,049円の減収となりました。病院事業費用は、前年度よりも1億1,325万6,147円増額し、34億5,548万6,894円となりました。医業費用のうち給与費が、人事院勧告に伴う給料・手当の増額、労働基準監督署の指導等による管理職員特別勤務手当・時間外勤務手当の増額等により7,893万9,817円増額し、材料費が高額な薬品の使用等により3,810万2,589円増加したことが主な理由です。令和5年度は2億7,142万5,532円の赤字となりました。持続可能な病院経営を確保するために、これからも医師の安定的な確保と安心、安全な医療が提供できるよう質の向上に努めるとともに、引き続き、増収対策に努めてまいります。

1 事業概要（患者数・病床利用率・職員数）

事業概要については、職員数184人、病床数155床の体制により延べ患者数130,896人の患者を診療しました。公立世羅中央病院においては、療養病床の入院患者が大幅に減少したことにより、入院延患者数は前年度に比べ1,745人（3.5%）減少し48,507人（1日平均132.5人）となりました。外来延患者数は前年度に比べ1,743人（2.4%）増加し75,086人（1日平均309.0人）となりました。公立くい診療所においては、外来延患者数は前年度に比べ145人（2.0%）増加し、7,303人（1日平均30.2人）となりました。

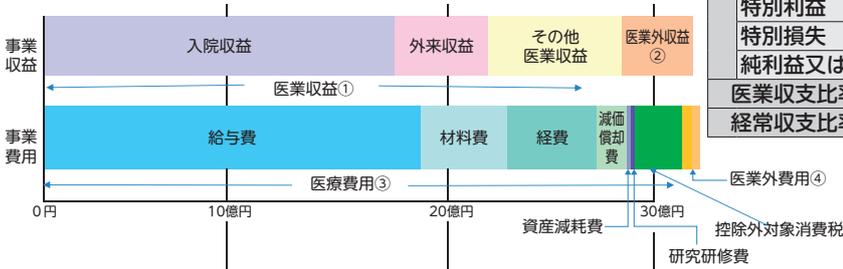
年度	公立世羅中央病院										職員数 (医師数)	
	入院					外来						
	急性期一般病床			療養病床		医科		歯科		外来 医科		
延数 患者数(人)	一日平均 患者数(人)	病床 利用率(%)	延数 患者数(人)	一日平均 患者数(人)	延数 患者数(人)	一日平均 患者数(人)	延数 患者数(人)	一日平均 患者数(人)	延数 患者数(人)	一日平均 患者数(人)		
令和4年度	43,308	118.7	88.8	6,944	19.0	69,258	285.0	4,085	16.8	7,158	29.6	177(14)
令和5年度	43,153	117.9	85.5	5,354	14.6	70,747	291.1	4,339	17.9	7,303	30.2	184(13)
前年比	△ 155	△ 0.8	△ 3.3	△ 1,590	△ 4.4	1,489	6.1	254	1.1	145	0.6	7(-1)

2 決算状況

(1) 収益的収入及び支出の状況

(単位：円)

病院事業収益は31億8,406万1,362円で、前年度と比較して1億6,272万6,036円（4.9%）減少となりました。事業費用は34億5,548万6,894円で、前年度と比較して1億1,325万6,147円（3.4%）増加となりました。経常損失は2億7,624万5,645円、純損失が2億7,142万5,532円となりました。これにより当年度末の未処理欠損金4億4,676万8,210円となりました。



項目	年度	令和5年度	令和4年度
		病院事業収益 A	3,179,241,249
医業収益 ①		2,830,378,683	2,742,711,289
医業外収益 ②		348,862,566	592,036,615
病院事業費用 B		3,455,486,894	3,331,382,295
医業費用 ③		3,423,044,110	3,306,337,534
医業外費用 ④		32,442,784	25,044,761
経常利益 (A-B) C		△ 276,245,645	3,365,609
特別利益 D		4,820,113	12,039,494
特別損失 E		0	10,848,452
純利益又は純損失 (C + D - E)		△ 271,425,532	4,556,651
医業収支比率 ①/③×100		82.7%	83.0%
経常収支比率 A/B×100		92.0%	100.1%

(2) 資本的収入及び支出の状況

(単位：円)

資本的収入は3億4,771万9,121円で、内訳は企業債1億940万円、出資金2億1,680万5,121円、補助金2,151万4,000円となります。資本的支出は4億3,838万4,230円で、内訳は建設改良費3億3,015万9,002円、企業債償還金1億717万5,228円、投資105万円となります。資本的収入が資本的支出に対し不足する額9,066万5,109円については、当年度分損益勘定留保資金で補填しました。

項目	年度	令和5年度	令和4年度
		資本的収入	347,719,121
資本的支出		438,384,230	265,060,033
不足額		△ 90,665,109	△ 120,845,427

※資本的収支の不足額は、当年度分損益勘定留保資金で補填しました。